予算特別委員会委員

【委員長】
岩本優祐

【副委員長】
藤田幸久

【委員】
前田富枝
長友克由
松岡ちひろ
堤幸子
漆原周義
奥野美佳
泉大介
門川紘幸
一田原明美子
有中山優正信

（議席番号順）

委員長の総括

コロナ禍での厳しい状況 全庁一丸の取組を

予算特別委員長 岩本優祐（いわもとゆうすけ）

本特別委員会では、5日間にわたり各委員から熱心な質疑と、有意義な提言が多くなされました。

今後の予算執行においては、各委員から出された数々の意見や提言を踏まえるとともに、コロナ禍での市政運営という厳しい状況の中、市民の立場になって、市政運営に全庁一丸となって取り組まれるよう強く要望します。

〈委員長の主な経歴〉

平成23年初当選、現在3期目、大阪維新の会枚方市議会議員団所属、41歳、監査委員、議会運営委員長等を歴任。

委員会での討論

市民サービス削り負担増 3会計予算案に反対

堤議員　一般会計予算案は、新型コロナ感染症の影響で市税減収の見通しの中、行財政改革で市民サービスを削った分で市駅周辺再整備を進め、同感染症への独自支援策の予算は確保していないさらに、市民サービスの低下等を招く職員の削減、保育の継続性や質が担保されない公立保育所の民営化、約1200万円減額の図書購入費、検証にならない学校プール民間委託のモデル事業、4校だけの試行実施で不公平感が続く放課後キッズクラブなどに問題がある。同感染症への対応等職員体制の強化、市民とともに議論する図書館協議会の設置、学校司書の早急な全校配置、公立幼稚園の給食提供における看護師配置等の体制の強化などをすべきであり、一般会計予算案に反対する。

また、保険料を引き上げる介護保険、特例軽減を終了する後期高齢者医療の2特別会計予算案に反対する。

他の特別・企業会計予算案には賛成するが、病院事業には今後も新型コロナ感染症の対応や市民の命を守るとりでの役割を、水道・下水道事業には基本料金の福祉減免の継続を、それぞれ要望する。

議会との議論を求め 全会計予算案に賛成

藤田議員　新型コロナ感染症対策等に加え、新たに取り組む事業について市民や議会の要望が一定反映されていることなどを総合的に見て、全会計予算案に賛成する。

ただし、本市を取り巻く環境が非常に厳しい中、長期財政の見通しで市税収入は4年度に一定水準まで回復するとしている。コロナ禍での実情を把握して健全な財政運営を要望する。

また、この街に住みたい基金について、再三指摘してきたが、対象とする基準が明確ではないため、廃止も含め早急に見直すよう強く要望する。

個別事業においては、①新型コロナワクチンの円滑な接種体制の構築、②市駅周辺再整備の議会や市民への十分な説明、③スマート自治体の推進に向けた組織風土や職員意識の改革、④総合文化芸術センター開館に伴う経済波及効果の測定と検証、⑤市立ひらかた病院の健全な病院運営―などに取り組むよう要望する。

なお、市政運営においては、議会と議論を重ねて意見を受け止め、理解が得られない場合には、方向性を見直すという英断も必要であると意見しておく。

令和3年度の各会計別予算額

（単位：千円，％）

会計名		令和3年度	令和2年度	前年度比増減率
一般会計		141,400,000	150,800,000	▲6.2
特別会計	国民健康保険	43,310,000	42,372,000	2.2
	自動車駐車場	99,000	97,000	2.1
	財産区	89,000	367,000	▲75.7
	介護保険	35,003,000	35,822,000	▲2.3
	後期高齢者医療	6,861,000	6,713,000	2.2
	母子父子寡婦福祉資金貸付金	29,000	30,000	▲3.3
	計	85,391,000	85,401,000	▲0.0
企業会計	水道事業	12,132,686	12,003,072	1.1
	病院事業	11,884,060	11,553,628	2.9
	下水道事業	18,866,423	21,396,862	▲11.8
合計		269,674,169	281,154,562	▲4.1

※企業会計の予算は、収入と支出が必ずしも一致しないため、支出額を記載しています。

杉中学校のバス通学 増便の利用維持は

自由民主党枚方創政会　長友克由（ながともかつよし）

バスで通学する杉中学校の生徒（国際ゴルフ場前バス停）

質問　杉中学校にバスで通学する生徒が路線バスの減便で下校時に乗り切れないことが頻繁にあったが、学校や保護者等の努力もあって臨時バスの増便が実現した。今後、このバスの利用をどのように維持していくのか。

答弁　臨時バスが必要な日程等を学校からバス事業者に送付し、教育委員会が確認するなど情報共有し、対象の生徒や保護者に案内する。今後も学校、地域、保護者、バス事業者と連携し取り組む。

長尾駅周辺のまちづくり 公民連携を図り前進を

質問　長尾駅周辺のまちづくりでは、委託業務で基礎調査等を実施し、構想を取りまとめるというが、今回の予算で十分な調査・検討ができるのか。

なお、公民連携を図りながら、計画的で良好なまちづくりを着実に前進させるよう要望する。

答弁　地域の多様な主体と目的や課題を共有し、公民連携を図りつつ進める考えで、主に専門的な業務は委託し、その他は市直営で地元組織と協力しながら取り組む。

ボランティア輸送の補助 課題含めた今後の取組は

質問　氷室台バス停からの急な坂道では、地域でボランティア輸送が検討されており、創設予定の補助制度に該当するが、運転手の継続的な確保など課題もある。今後、どのように進めていくのか。

答弁　今回のボランティア輸送は、道路運送法の許可等を要さない範囲で共助によるものとなり、比較的短期間で始められることから、効果検証も十分に行いながら継続、発展できるよう取り組む。

生涯学習市民センター 休館せず楽しめる事業を

日本共産党議員団　松岡ちひろ（まつおかちひろ）

御殿山生涯学習美術センター

質問　生涯学習市民センターは感染症対策のため、2年度は休館が続いたが、リモートコンサート等の休館せずに楽しめる事業を展開できないのか。

なお、国の感染対策費を活用し、コロナ禍でこそ市民の文化・芸術活動の場を守るよう要望する。

答弁　御殿山生涯学習美術センターで開催したオンラインワークショップ等の取組に続き、ウェブを活用した事業の実施について検討していく。

公私間格差の是正 私立保育所に看護師を

質問　体調不良児に対応する病児保育について、全公立保育所で看護師を配置する一方、私立保育所では看護師の不足もあり実施は全体の約半数というが、市の対策を聞く。

なお、全ての私立保育所に専任の看護師を配置し、公私間格差を早急に是正するよう要望する。

答弁　2年度から実施の保育士等確保・定着支援事業で看護師の確保や離職防止を図る等の取組を、3年度も継続実施する。

生活保護の申請時 扶養照会への対応は

質問　国は、生活保護の申請をためらわせる扶養照会は義務ではないと表明している。その趣旨に沿って、生活保護をちゅうちょせずに申請できるよう、適正な対応が求められるが、本市における扶養照会の対応状況について聞く。

答弁　生活歴などを聞き取りする中で、扶養を求めることにより明らかに要保護者の不利益に働くと認められる場合は、扶養照会の話に言及しないこともあり得るが、個別に慎重な判断を行う。

香里ケ丘地区 新たな魅力創出を

公明党議員団　田中優子（たなかゆうこ）

香里ケ丘図書館

質問　香里ケ丘図書館とみどりの広場のリニューアルに伴い、同地区の新たな魅力創出のためどう取り組むのか。

なお、商業施設や地域住民とも協力、連携し、地域一体を面として捉え、にぎわいのあるまちづくりを進めるよう要望する。

答弁　指定管理者から図書館とみどりの広場を結びつけるイベント企画の提案を受けており、実施時期や内容について協議、検討を進めている。

電子書籍の導入 予算化への考えは

質問　電子書籍の導入は、新型コロナ対応や今後の図書館サービスにおいて非常に有効であるため、以前から要望してきた。今回、市政運営方針で表明しているにもかかわらず当初予算案に計上していない理由と、今後の予算化についての考えを聞く。

答弁　当初予算編成後に、国の交付金を活用できることが判明したため、当初予算の第1次補正として準備を進めており、3月定例月議会で提案する。

衛生用品を点検し 循環備蓄への取組を

質問　アルファ化米などの食料品は、一定期間備蓄したものを防災訓練などで活用する循環備蓄をしているという。生理用品や紙おむつなども経年変化がないか点検し、同様に取り組む必要があると考えるが、見解を聞く。

なお、災害備蓄品を活用し、「生理の貧困」への対策を要望する。

答弁　衛生用品の循環備蓄については、活用する機会や主体などの運用ルールが整っていないため、今後、各部署に活用方策の意見を聴取していく。

連合市民の会 奥野美佳（おくのみか）

市立ひらかた病院 がん医療と在宅医療 連携強化と充実を

市立ひらかた病院

質問　市立ひらかた病院は、府のがん診療拠点であり地域医療支援病院[*4]の承認も受けている。同院のがん医療が、在宅医療との連携や在宅でのみとりへの支援など、今後、地域医療で果たす役割を高めるために必要な取組を聞く。

なお、市医師会との関係も含め、地域医療の推進に向けた市の支援体制の強化、充実を要望する。

答弁　在宅療養生活の安心のため、様々な機関との緊密な連携調整を図る。

将来負担の抑制に向け 減債基金の積み増しを

質問　減債基金の積み増しについて、元年度は予算を執行せず、2年度は予算化もしていない。3年度も利子分のみの計上だが、計画的に積み増しを行う考えはあるのか。

なお、市債残高を増大させる政策を行うなら、将来負担の抑制に向け、減債基金を計画的に積み増すべきと意見しておく。

答弁　毎年の収支見込み等を踏まえながら、積立てを行うべきと考える。

市税収入の見通しは 課税状況の詳細把握から

質問　コロナショックの影響は、一律でなく選択的で、働く女性への打撃が大きいと考える。市税の減収も見込まれるが、男女別や所得階層別の課税状況を把握しているのか。

なお、市の財政を支える納税者の詳細を把握せず、国が示す4％の経済成長見通しで4年度に税収がV字回復するなど、楽観的な財政の見通しは問題だと指摘しておく。

答弁　税データでは基本、性別情報を保有していないが、所得階層ごとの状況等をまとめた市税概要は毎年度作成している。

連合市民の会 漆原周義（うるしはらちかよし）

長尾地域のまちづくり 渋滞解消の手法は

上下水道局

質問　長尾駅周辺のまちづくり構想を策定するというが、府道交野久御山線では慢性的に渋滞が発生している。長尾地域のまちづくりを進める上で、同路線を都市計画道路として定め、渋滞解消を含めた整備を行う手法について、どのように考えているのか。

答弁　同路線の具体的な検討は3年度以降となるが、まちづくりに必要な施設は都市計画で定めて整備していくなど、様々な手法を幅広く検討する。

水をより安く 水道料金の施策展開を

質問　本市における今後の水道口径別料金単価の設定について聞く。

なお、多くの自治体が逓増[*5]料金制を採用しているが、使用水量に基づく従量料金の単価は本来均一であるべきと考える。水をより安く提供できるような水道料金の魅力的な施策の展開を要望する。

答弁　5年ごとに算定する総括原価に基づき料金改定の必要性を判断し、小口径での料金設定と、大口径における逓増度の緩和を検討していく。

市立ひらかた病院 感染症指定医療機関 第一種への指定は

質問　市立ひらかた病院は、第二種感染症[*6]指定医療機関として補助金を受けているが、第一種の指定を受けることは可能か。

なお、第二種の指定による病床数は、今回の新型コロナ感染症等が想定されていない。今後、市の取組を進める上では、危機管理とリスク回避の視点を持つよう要望する。

答弁　第一種の指定基準を満たすためには設備や体制面に相当の整備が必要で、指定は困難である。

公明党議員団　藤田幸久（ふじたゆきひさ）

空きスペース活用し 歴史民俗資料館に

輝きプラザきらら

輝きプラザきらら2階の展示ルーム

質問　文化財展示会開催経費として、輝きプラザきららの展示ルームで考古学講座などを開催するという。同施設の空きスペースを歴史民俗資料展示室として活用し、さらに近い将来、歴史民俗資料館を開館すれば、広く市民に本市の歴史を知ってもらう拠点になると考えるが、見解を聞く。

答弁　同資料館の具体的な整備計画はないが、様々な歴史文化遺産を次世代に伝え、本市の魅力発信に重要な役割を果たす施設と考える。なお、同展示ルームでは一部展示内容をリニューアルし講座も開催した。今後も工夫しながら本市の歴史文化の普及に取り組む。

枚方市展の開催に向け 審査員選定の取組を

質問　総合文化芸術センターで12月に開催予定の公募選抜美術工芸展、いわゆる枚方市展の経費を計上しているが、現在の進捗状況を聞く。

なお、開催に向け、審査員の選定という課題に十分取り組むよう要望する。

答弁　学校をはじめPTAや地域などと連携し、バス事業者と協議を重ねた結果、臨時2便が増便され、生徒の乗車状況を確認した。今後も生徒が円滑にバスを利用できているか調査する。

バス減便に対する 杉中学校の通学対策は

質問　杉中学校のバス通学補助金対象地域が拡大されたが、バスの減便により下校時に生徒がバスに乗れない事態が発生したため、早急に対策を要望したが、現在の状況を聞く。

答弁　学校をはじめPTAや地域などと連携し、バス事業者と協議を重ねた結果、臨時2便が増便され、生徒の乗車状況を確認した。今後も生徒が円滑にバスを利用できているか調査する。

本会議の生中継・録画配信を実施中

本会議中は、インターネットによる生中継を行っています。また、後日、録画映像を配信しています。それぞれ、市議会ホームページの「本会議生中継」または「録画映像」からご覧いただけます。

録画映像はこちらから

5面 用語の解説

＊4　地域医療支援病院…紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施等を行い、かかりつけ医等への支援を通じて地域医療の確保を図る病院のこと。

＊5　逓増料金制…使用水量が多くなるに伴い、1立法メートルあたりの単価が高くなる料金制度のこと。急激な人口増加、高度経済成長に対応し、大量に水を使用する事業者の水道使用抑制を図ること等を目的として、全国的に導入された。

＊6　感染症指定医療機関…新感染症、一類及び二類感染症の患者の医療を担当する指定医療機関のこと。国や府が指定する。第一種感染症指定医療機関は、エボラ出血熱やペスト等の危険度が極めて高い一類感染症に対する医療機関であり、第二種感染症指定医療機関は、二類感染症の結核や鳥インフルエンザなど、危険度が高い一類以外の感染症に対する医療機関となる。

※質疑については、紙面の都合上、各議員が項目を選定の上、掲載しています。また、内容を要約しているため、実際の発言口調とは異なる場合があります。